



【日本学術会議主催学術フォーラム】

今後の我が国の大学のあり方を考える

日時：平成29年8月25日（金）13:00～17:00

場所：日本学術会議講堂

（地下鉄千代田線乃木坂駅5番出口すぐ・国立新美術館隣）

後援：文部科学省、国立大学協会、公立大学協会、日本私立大学団体連合会



日本学術会議では、我が国の高等教育をめぐる種々の環境変化や時代の展開において、大学はどこに向かって舵を取るべきかを探るため、平成28年1月に学術フォーラム「少子化・国際化の中の大学改革」を開催しました。

今回は、これに引き続き、我が国の大学が地域や関係機関と連携・協力を図りつつ、その発展のために如何なる方策をとるべきかについて、国民の声も聴きながら、大学（国立、公立、私立）、行政、メディアを代表する有識者による問題提起と討論によって探ります。

■プログラム■

【総合司会】 三成 美保（日本学術会議第一部会員・国立大学のあり方検討委員会幹事、奈良女子大学副学長・研究院生活環境科学系教授）

開会挨拶・趣旨説明

福田 裕穂（日本学術会議第二部会員・国立大学のあり方検討委員会委員長、東京大学理事・副学長・大学院理学系研究科・理学部教授）

講演

大西 隆（日本学術会議第三部会員・会長・学術研究推進のための研究資金制度のあり方に関する検討委員会委員長、豊橋技術科学大学学長、東京大学名誉教授）

安浦 寛人（日本学術会議第三部会員・国立大学のあり方検討委員会副委員長、九州大学理事・副学長）

柴田洋三郎（公立大学協会副会長、福岡県立大学学長）

吉岡 知哉（日本私立大学団体連合会副会長、立教大学総長）

山本佳世子（日刊工業新聞社論説委員）

永田 恭介（国立大学協会副会長、筑波大学学長）

小山 竜司（文部科学省高等教育局国立大学法人支援課長）

パネルディスカッション

【司会】 福田裕穂

【パネラー】 大西隆、安浦寛人、柴田洋三郎、吉岡知哉、永田恭介、小山竜司

閉会の辞

大西 隆

お申込み：日本学術会議ウェブサイト（<https://form.cao.go.jp/scj/opinion-0003.html>）にて平成29年8月24日（木）17時までにお申込み下さい。参加費無料。定員250人。当日の受付開始は12:30～

問合せ先：日本学術会議事務局 企画課学術フォーラム担当

東京都千代田区六本木7-22-34日本学術会議3階 電話：03-3403-6295